

2022.vol.19

NPO法人秋田グリーンサム倶楽部

奇跡を呼ぶみどりの指

Greenthumb

Metaverse 未来空間の創造



美意識は 社会資源です

CONTENTS 2022.vol.19

地域の笑顔をつくる
道の駅てんのう天王グリーンランド……2
道の駅てんのう「食菜館くらら」を支える
地域自慢の生産者のみなさん……6

能登半島紀行
能登半島のテロワールを求めて……8
庄内のテロワール
人と人をつなぐ料理人奥田政行氏の料理を食す……11
●対談:瀬口庄八氏×佐々木吉和

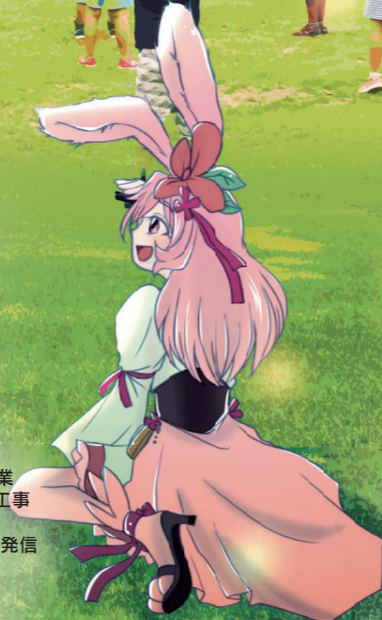
能登演劇堂ができるまで……12
能登テロワール紀行……14
秋田グリーンサム倶楽部メンバー寄稿/渡部一之
●むつみガーデン・ぶどう園……16
秋田生まれ、秋田育ちの秋田ワイン・「ワイナリーこのはな」のテロワール……17

Greenthumb・TOPICS2021

- 秋田県立小泉湖公園 日本庭園水心苑……18
- 桜月流 創流50周年記念いけばな展
- 秋田ふるさと村……19
- 秋田県環境と文化のむら……19
- あきぎんイルミネーション2021……19
- 秋田県立北欧の杜公園……20
- 秋田県農業研修センター生態系公園……21
- 石川理紀之助翁がつかないでくれた、秋田と宮崎の素敵な交流……21

mutsumi-works……22

- 石巻南浜地区植栽 ■盛岡市動物園ZOOMO再生事業
- 大館市石田ローズガーデン改修における外構整備工事
- 健康経営優良法人の認定証をいただきました
- ローカルクエストによる学生インターンの公園魅力発信



Greenthumb

2022年 19号

Greenthumb 19号 2022年1月1日発行 発行所 ●むつみ造園土木株式会社 代表取締役 佐々木創太
〒010-0951 秋田県山王5丁目13-3 TEL018-863-2011 FAX018-864-1316 URL http://www/mutsumi-l.co.jp



Human Ecology Design

Greenthumb 19号 2022年1月1日発行
発行所 ●むつみ造園土木株式会社 代表取締役 佐々木創太
〒010-0951 秋田県山王5丁目13-3
TEL018-863-2011 FAX018-864-1316
URL http://www/mutsumi-l.co.jp

■むつみガーデン

〒010-0201 秋田県湯上市天王字棒沼台306
TEL018-878-2011 FAX018-878-4963

■秋田グリーンサムの社

NPO法人 秋田グリーンサム倶楽部
〒010-0201 秋田県湯上市天王字細谷長根127
TEL018-878-3986 FAX018-878-2950
URL http://akita-gt.com

地域のWell-being 品格・本質極める 創造の真髄



秋田県内NO.1の産直目指して、新鮮野菜を数多く取り揃えています。レジや品出し、発注作業や出荷組合員さんの対応などの仕事を通して、お客さまの「ありがとう」の言葉や笑顔に癒やされています。

11月18日より発売となった「かほりかおる かほり梨のしっとりパウンドケーキ」は、口に入れた瞬間、かほり梨の香りがふわっと広がり美味しかったです。



食彩館くららチーム
毎日新鮮な野菜や惣菜、
お土産等連携プレーで
がんばっています！

2021年12月9日(木)
秋田さきがけ新聞に
掲載されました！



●食彩館くらら レジ・品出し・発注
吉田真由美さん

旬の新鮮野菜がおすすめですよ！

私のおすすめ
かほりかおる
かほり梨のしっとり
パウンドケーキ



「道の駅てんのう」をつくる、スタッフのみなさん。
笑顔でしあわせの輪が広がります！



私のおすすめ
食彩館くららの
「焼きおにぎり」

●食彩館くらら 櫻庭陽介さん
生産者さんもスタッフも元気です！

生産者さんが元気に出荷されることが一番大切だと思います。スタッフは、元気に出荷したくなるような店づくりを目標とすることによって、生産者さんもスタッフも元気で活気のあるお店になり、お客さまにも活気が伝わっていくと思います。食彩館くららのおすすめは「焼きおにぎり」です。とても人気があり、昨年度は2300点以上の売上がありました。

●食彩館くらら 櫻庭陽介さん
生産者さんもスタッフも元気です！



地域の笑顔をつくる 道の駅てんのう 天王グリーンランド



無料展望台スカイタワー(高さ59.8m)からイベント会場を望む



芝生広場でのガーデン&マーケットのイベント



あさまこぼちや市は7:30から、採りたて新鮮な食品などならんでいます

「ドライブ中の立ち寄りスポット」だった道の駅も、どんどん進化を遂げ、今では「旅の目的地」としても注目を集めるほど、観光拠点となる人気スポットとなっています。

道の駅てんのう 天王グリーンランドには、地元採れたて野菜から新鮮なお魚、生花、特産の果樹、加工品等の湧上市の「食」と「文化」が詰まった食彩館くららがあり、毎日多くの人で賑わっています。

県内最大級規模の温泉施設、天王温泉からは、レジャーやドライブの疲れを癒やす大浴場と露天風呂、サウナがあり、旅行中の方にも地域の方にも人気の温泉です。

地元野菜がふんだんに使用されているレストランなつば・はうすも人気で、限定のランチセットやボリューム満点の定食、生キャラメルソフトクリームなどのスイーツが地元の方にも好評です。

ほかにも見どころ満載で、「天王スカイタワー」、市民ギャラリー「阿吽(あうん)」等、見逃せないスポットばかりです。

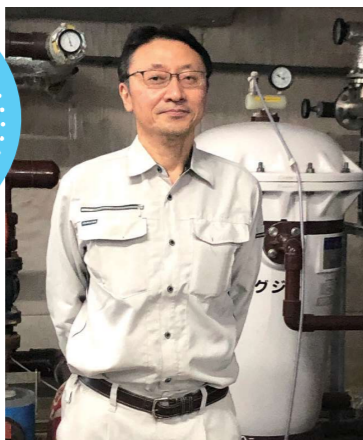
こんな魅力いっぱいの「道の駅てんのう」で働き、地域の笑顔をつくってくれているスタッフの皆さんを取材しました。

私のおすすめ
天王温泉くらの
「保温効果の
高い泉質」



天王温泉くらのチーム
毎日いいお湯と、笑顔で
癒しの温泉を提供できるよう
がんばっています！

私のおすすめ
天王温泉くらの
低温・高温サウナ



●天王温泉くらの 施設管理
藤原宏さん

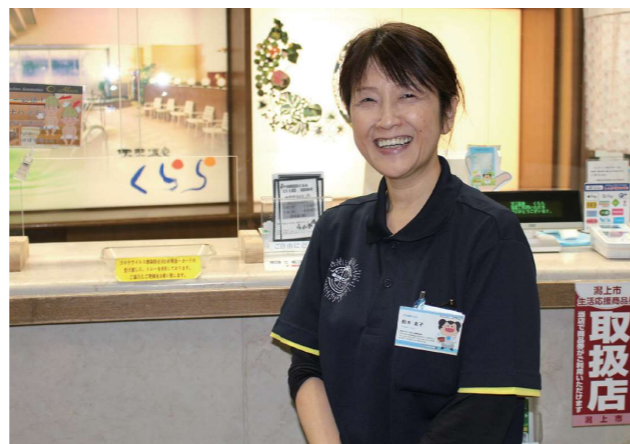
「ゆず湯」などの
イベントに注目です！

※ゆず湯は2021年12月22日開催しました。

温泉の管理と宴会の送迎の担当をしています。送迎の際は当たり前ですが安全運転を心がけ、温泉の接客の際には、お客さまに温泉に入つて気持ちよくお帰りのためだけに心掛けています。温泉には和風と洋風の大浴場のほか、低温と高温のサウナがあります。低温サウナは50〜60度と低い温度で、体の芯から温まり、お子様や高齢の方でも楽しめます。サウナプールの今、「とどのう」を体験してみたいかがですか？

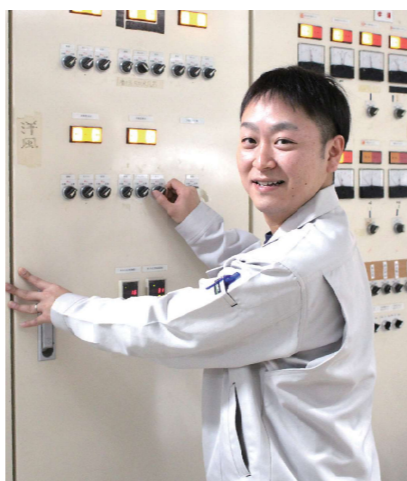
私のおすすめ
地元醤油店の
味噌を使用した
「まるみそソフト」

眺望や鯉の餌やりなどおすすめスポットもたくさんあります。天気の良い日にはハイキングコースを周り、温泉でゆっくりされてはいかがでしょうか、お待ちしております。



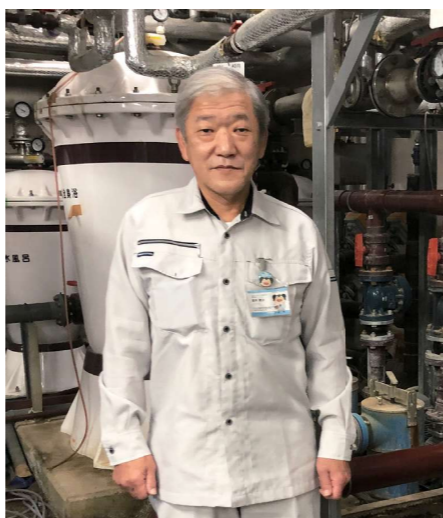
●天王温泉くらの フロント・施設管理
お客さまのご要望にお応えしたい！
船木圭子さん

温泉の受付や施設内清掃を担当しております。館内を回っている時にお客さまから「ありがとね」などと声を掛けられることが、本当に嬉しく、やりがいを感じます。お客さまのご要望にできるだけ応えることを目標にしています。



●天王温泉くらの 施設管理
「安全」と「清潔」を心がけています！
柏崎朋也さん

ボイラー室機械操作や館内外の清掃、修繕、事務を担当しています。温泉を安全に、また清潔にご利用していただくために、機械設備の操作や清掃を行っています。ボイラー室の裏から見えるグリーンランドの池の周りには、春には桜が咲き、秋には紅葉が色づき、季節を感じる事ができるスポットです。「良い温泉だったよ」とお客さまから声をいただくことがあります。その言葉が仕事へのやりがいに繋がっています。



●天王温泉くらの 施設管理
鈴木啓之さん
「癒やしの湯」の提供に
努めます！

温泉の機器管理、館内外の清掃、宴会等の送迎を担当しています。温泉くらは、24時間源泉ろ過装置を使用しておりますので、清潔なお湯をお楽しみいただけます。お客さまにとって、「癒やしの湯」となるよう、一層努力したいと思います。

天王グリーンランド内は、タワーからの

「道の駅てんのう」をつくる、
スタッフのみなさん。
笑顔であわせの輪が
広がります！

私のおすすめ
ドリームショップ
くらかけの
「かぼちゃソフト
クリーム」



地元の食材・旬のものを使った料理をお出しし、大切な方のお食事をお楽しみいただけるよう、心地良い空間づくりを目標にして、ホールサービスに取り組んでいます。
なつば・はうすのメニューでは、平日限定12食のお弁当ランチ「和彩」がお刺身と2種のおかずにおかずデザートもついていて人気です。ソフトクリームもおすすめで、パニラと生キャラメル両方楽しめるミックスが一番人気です。



なつば・はうすチーム
毎日おいしいお料理を
提供し、おいしい笑顔で
いっぱいになるように
がんばっています！

カレーやパスタ、野菜炒めなどの温かい料理を担当しています。料理を提供して、お客さまの「おいしい！」の声と笑顔が見られたときは、本当に嬉しく、仕事のやりがいに繋がってきます。なつば・はうすでは、地元の旬の食材を使って美味しい料理をお出ししております。
冬の季節は、レストランからキラキラとイルミネーションが見えてとてもキレイです。皆さん、是非ご来店くださいませ。

●なつば・はうす 調理
村上七海さん



私のおすすめ
食菜館くらの
種類豊富な
地元食材



美味しい料理でおもてなし！

平日限定の人気ランチ「和彩」の内容を発案仕込み準備等調理を担当しています。自分で盛り付けたランチをお出しし、お客さまから喜んでいただけた時は何よりも嬉しいですが、これからもお客さまに喜んでいただけるおもてなしを常に考え、実行できるように頑張りたいと思います。
肉野菜定食など人気の定番メニューをはじめ、地元農家さんより仕入れた旬の限定メニューもございます。一度ご賞味ください！

私のおすすめ
なつば・はうすの
国産牛
ヒレステーキ



私のおすすめ
冬のシーズンの
「イルミネーション」



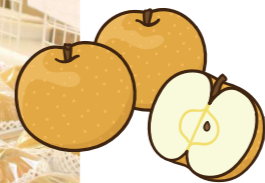
●なつば・はうす 調理
森田祐之さん
笑顔になれる料理を目指します！

●果樹 中川愛久さん

「このナシ、美味しかったよ！
の声で元気をもらいます」

和ナシを出荷しています。潟上市の果樹は砂地で育つためか、果肉が緻密で、複雑で芳醇な風味になっています。出荷する時にナシを並べていると、お客さまが「このナシ美味しかったよ」と声を掛けてくださるので、「また美味しいナシを作ろう！」とパワーをもらえます。また、市場にはあまり出回らない珍しい品種のナシを出荷することもあるので、いろいろな品種をお楽しみいただけます。

社のおすすめ
食菜館くらの
リーズナブルな「お惣菜」



また、大きい・小さい・キズありなどの規格外商品も直売所ならではの商品です。ご贈答品ではなく、ご自宅用でしたら、お得になっておりますので、ぜひお試しください。ナシの他にも、少しですがキュウリなどの野菜も出荷しています。これからお客さまからの声を元気に変えて頑張りたいと思います。

笑顔でつなぐ
地域のテロワール

道の駅てんのう「食菜館くらら」を支える
地域自慢の生産者のみなさん

●生花 菅原良一さん

「大変な時もあるけれど、
キレイに咲いてくれたら嬉しいね」

社のおすすめ
食菜館くらの
「ホルモン煮込み」

切り花をメインに、米や野菜も出荷しています。花はバラやキクなど30〜50品目あり、目が肥えているお客さまが多いので、ヨーロッパの新品種や珍しさ、新しさにもこだわって花を生産しています。
お米は40年以上有機肥料を使い「あきたこまち」と「めんこいな」を出荷しています。必ず購入される常連さんもうるくらい人気となっています。
特に物日の売れ行きが好調なので、ご入用の方はお早めにお求めください。



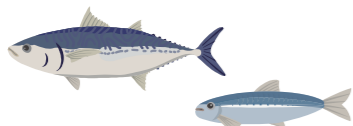
枝豆をメインに、ローリエ・マタタビ・シイタケ・ゴボウなどを出荷しております。くらの野菜は出荷する人の名前が書いてあるので、誰が作ったかわかる、安心安全で新鮮なものばかりです。
不揃いなどで規格外となる「訳あり野菜」は、産直の人気コーナー。お客さまの財布にやさしく、フードロス削減にも繋がります。もっと人気が出そうです。

また、小分け品が売れ筋となっておりますので、パッケージを少量にする工夫もしています。
少量をお求めになりたい学生さんや一人暮らしの方に好評です。これからはレシピの情報提供にも取り組みたいです！

社のおすすめ
フードロス削減の
「規格外野菜」



●野菜 くらら出荷組合 組合長 伊藤敏明さん
「生産者の顔が見える野菜です！」



●魚 「カネマル水産」伊藤加寿子さん

「独自製法の珍味
棒あなご、あります！」

社のおすすめ
食菜館くらの
「味噌クリームマカロン」



自社の船で水揚げされた鮮度抜群の魚のほか、鯛の一夜干し、魚を使ったお惣菜などを販売しています。
鮮度の良い魚だけを扱うため、天候不良で魚が取れず、お店を開けられないこともございます。それでもお客さまに「この魚が一番美味しい」と言っていたいただき、ありがたく感じています。
伝統の希少食材の珍味「棒あなご」も道の駅では男鹿と天王のみで販売しています。

す。食べ方は、冷凍のまま両端を少しづつ切って、中火で10分間じっくり焼いてください。皮はパリパリで身はジューシーで、濃厚な魚介の味わいです。ホルモンのようだというお客さまもいらっしゃいます。
煮付けに最適なカレイの切り身も冷凍で販売していて人気です。ぜひお試しください！



風光明媚な能登半島へ

石川県の北端に位置する能登半島。旅してみると、風光明媚な景色、伝統文化の宝庫でした。荒々しい日本海が見える外浦と、富山湾に面した穏やかな内浦の両方の海が楽しめます。金沢市から能登半島の入り口、七尾市まで車で1時間ほどとアクセスも良好でした。

七尾フィッシャーマンズ・ワーフ 能登食彩市場

まずは地元の道の駅、能登食彩市場を視察(MAP1)とびり新鮮な海産物が並び、浜焼きやレストランも充実しています。能登の観光拠点となっています。その道の駅のすぐ近くにある「レストランテリオ」(MAP2)は、七尾湾を眺めながら美味しいイタリアンがいただけます。古い倉庫を改造したお店は、カジュアルな雰囲気ながらも、能登のこだわり食材を使ったイタリアンが絶品でした。コシウダイのリゾットや牛の肩ロースのステーキ、ブランドマンジエと紫芋のシエラートなど、店長さんおすすめの美味しいワインと共に、素敵なひとときを過ごすことができました。

能登に魅せられた俳優、仲代達矢さん

家族旅行で来た能登半島に魅せられ、その後、演劇専用ホール「能登演劇堂」(MAP3)を作った仲代達矢さん。現在も仲代達矢率いる「無名塾」によるロングラン公演を、この七尾市で定期開催しています。今回のロングラン公演は仲代達矢役者七十周年記念作品「左の腕」。素晴らしい演技に引き込まれ、大きな感動で胸がいっぱいになりました。

能登半島には「能登島」がある

能登半島には七尾湾をふさぐような形の「能登島」があり、能登大橋とツインブリッジの2つの橋でつながっていました。ツインブリッジから車で5分ほどにある「ワイン食堂ぶかぶか亭」(MAP4)は、目の前にヨットハーバーのある、自家製生パスタが人気のレストラン。ワインに合うお料理とのんびりとした雰囲気魅力です。ランチコースは、たくさん種類の野菜が楽しめるサラダに、もっちりとした生パスタに手作りのデザート。ノンアルコールのスパークリングワインを合わせていただきました。

能登半島紀行♡

能登半島のテロワールを求めて。

「テロワール Terroir」とは、フランス語で「土地」を意味する「テール」が語源と言われ、特にワインの世界で使われる言葉です。その土地の気候や地形、土壌など、土地の環境や個性を示しています。ワインから広がる食のキーワード、テロワール。今回は「テロワール」をテーマに、能登半島を巡ってみました。



1 能登食彩市場



1



2 レストラン リオ



2 2 2 2 2 2



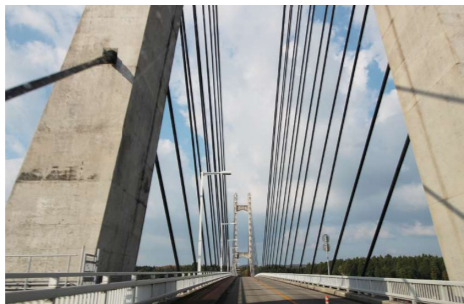
2 2



6 能登ワイナリー



6 能登ワイナリーは石川県内初の本格的なワイン醸造場で、ワイン専用品種使用の加熱処理をしない生ワインを製造販売。見学や試飲が無料です。



能登島のツインブリッジ



4 4 4 4 4



6



七尾湾・ヨットハーバー 4



6



5 ロイヤルホテル能登

能登半島のワイナリーその1

宿泊先のロイヤルホテル能登(MAP5)での夕食時、カニに合わせて「能登ワイン」を出していただきました。能登にもワイナリーが2つあることを知り、穴水町のワイナリー「能登ワイン」(MAP6)へ。ワイナリーの横には広大なブドウ畑が広がります。能登の牡蠣の殻を活用して土壌を作っていて、海のミネラルをたっぷり含んだ土となるそうです。ショップにはワインに合う料理のレシピが添えられていて、購入後、料理とのリアージュが楽しめるように工夫されていました。

日本の原風景、白米千枚田

輪島市白米町にある世界農業遺産「能登の里山里海」の代表的な棚田です。日本古来の農法「苗代田」を復活させ、実際に種粉から苗を育成し、稲作を行う取り組みを行っています。能登半島の中でも人気の観光地で、道の駅「千枚田ポケットパーク」(MAP⑦)が併設されています。



← 棚田米おにぎり(コシヒカリ) フグのから揚げ、能登きなごあずきソフト、里山サイダーフロート、里海サイダーフロートなど看板メニューにも地域の特徴がパッチリ感じられます。



⑦ 白米千枚田

すし大国七尾の「能登前寿司」 眼前に広がる七尾湾は「天然のいけす」と呼ばれるほど多種多様な魚介類が水揚げされ、四季折々の美味しいお寿司がいただけます。能登前寿司「千代ずし」(MAP⑩)は毎朝市場に行き、その日に捕れた能登のお魚にこだわって出しているお店です。能登の海の幸を存分に楽しめます。

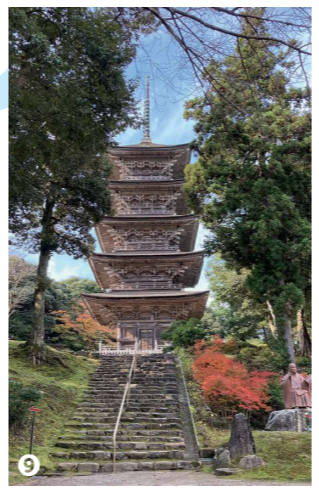


⑩ 能登前寿司「千代ずし」

能登のテロワール 能登半島を周ってみて、気候、風景、特産品、人柄に触れ、その土地で作られた食材を、その土地でいただく贅沢さを実感できました。能登でつくられたワインを能登の食材と共にいただき、能登のテロワールを見つけたことで、心豊かな時間を過ごすことができました。



- MAP① 能登食彩市場
〒926-0041 石川県七尾市府中町員外13-1
- MAP② Ristorante Rio(リストラテリオ)
〒926-0058 石川県七尾市湊町1丁目145-8
- MAP③ 能登演劇堂
〒929-2222 石川県七尾市中島町中島上部9
- MAP④ ワイン食堂 ぶかぶか亭
〒929-2213 石川県七尾市中島町外14
- MAP⑤ Royal Hotel 能登
〒925-0156 石川県羽咋郡志賀町矢蔵谷ラ-1
- MAP⑥ 能登ワイン
〒927-0006 石川県鳳珠郡穴水町字旭ヶ丘5-1
- MAP⑦ 道の駅「千枚田ポケットパーク」
〒928-0256 石川県輪島市白米町八部99-5
- MAP⑧ ハイディワイナリー
〒927-2351 石川県輪島市門前町千代31-21-1
- MAP⑨ 妙成寺
〒925-0002 石川県羽咋市滝谷町3-1
- MAP⑩ 能登前寿司 千代ずし
〒926-0865 石川県七尾市松本町二25-1



ころ柿のカーテンと 国重要文化財

加賀百万石、前田家ゆかりの寺、妙成寺(MAP⑨)。境内に10棟もの国重要文化財があり、北陸唯一の五重塔は圧巻です。お寺の入口には、道の駅ならぬ寺の駅があり、能登の晩秋を彩る風物詩、「ころ柿」のカーテンが吊ってありました。ころ柿は柔らかい肉質と上品な甘みが全国的に人気があるそうです。



⑧ ハイディワイナリー



⑧

⑨

庄内のテロワール

人と人をつなぐ料理人奥田政行氏の料理を食す

山形県庄内地方、鶴岡市にあるイタリアンの名店「アル・ケッチャーノ」。庄内の食材と向き合い、食材を育んだテロワールを敬う奥田シェフの料理は、食材を最大限に引き立てる独自の調理法で全国的な人気となっています。毎朝集められる庄内の食材を見てからメニューが決



まるので、二期会の皿を楽しめることも魅力のひとつ。毎朝決まるメニューは黒板にびっしりと書き込まれます。

は、著書にも多く取り上げられている、焼き畑から発想された揚げ目が旨味になる奥田流イタリアン。すべてのメニューが庄内の食材へのこだわりが感じられました。庄内弁で「ここに全部あるからね」という意味の店名の通り、ここには庄内のテロワールが全部ありました。



奥田政行の庄内イタリアン アル・ケッチャーノ 〒997-0341 山形県鶴岡市下山添一里塚83 tel.0235-78-7230

能登演劇堂ができるまで

日本で唯一、自然と舞台が一体となった演劇専用ホール「能登演劇堂」。
その演劇堂が作られるきっかけとなったのは、仲代達矢さんと瀬口庄八さんとの出会いでした。能登演劇堂ができるまでの経緯や仲代達矢さんの人柄、また、この地域の未来などを、佐々木吉和会長とお話していただきました。

演劇のまち振興事業団
理事 瀬口庄八さん
昭和22年生まれ、石川県中島町(現・七尾市)出身



佐々木吉和(以下佐々木)…昭和58年、仲代達矢さんが能登へ家族旅行に来た際、ご案内した時のことを教えてください。

瀬口庄八さん(敬称略、以下瀬口)…その時私は35歳位で、仕事で東京や仙台にいたのですが、父親が亡くなり、地元の中島町(現・七尾市)に帰ってきたところでした。仕事の関係で無名塾の演出家の林清人さんとお付き合いがあり、能登を案内することになったんです。当時の写真、あゆみコーナーに飾ってありますが、ワンボックスの車に仲代さん家族と私と林さんと能登半島をぐるっと一周しました。仲代さんとは、もちろん初対面ですし、私も仲代さんも全然しやべらないですよ。車の中の空気が重たかったです(笑)。地元で有名な蔵に立ち寄ると、ここに人が立ったらどう見える？、光の道は？など、演劇のストーリーが出来る

う」と、キャストもスタッフも能登から行った人も東京にいた友だちも、みんなで飲みました。そんなふうにして仲良くくなりましたね。

佐々木…そこで「能登演劇堂」建設の話に発展するんですね。

瀬口…無名塾の合宿など、10年間、中島町での活動が定着したこともありましたね。平成7年に演劇専用ホールとしてオープンしました。名誉館長に仲代さんが就任しています。芝居を二人でも多くの方に観てもらおうと会員制にしたり、チケットの販売などの運営をボランティアの方々に手伝ってもらったことなど、いろいろ決まってきました。

佐々木…能登演劇堂は舞台の奥の扉が大きく開き、能登の自然と舞台が繋がっている世界的に珍しい仕組みですが、客席の勾配が、力学的なことを分かってないといけないと思うのですが、仲代さんが考えたんですか？

瀬口…仲代さんは多目的ホールほど無目的なものはない、舞台は一瞬にして暗黒にならなくてはいけない、長方形で25メートル以内にくれと言いました。贅沢なことだけれども650人のホールを作る。視力の良い人は役者の汗が見える位の距離、それが良いと。イギリスのランズ・エンドの野外劇場がイメージにあったそうです。1人のおばあさんがこつこつと石を

上がってくるんです。舞台の世界の人たちなんだな、と思いました。

旅行の後、林さんから「東京に芝居を見に来ないか？」と誘われ、渋谷まで行きました。芝居を見た後、林さんの自宅に招かれ、無名塾の夏合宿の話になった時に、私が「夏合宿は中島でやりませんか？」という、林さんも「おもしろいね」と言っていて、それぞれ関係各所にお話して調整することで別れました。私は町長さんなどにお話し、意見交換会などを経て、夏合宿の開催が決まりました。

佐々木…瀬口さんの行動力が素晴らしいですね。

瀬口…何よりも仲代さんが能登を気に入ったというところですよ。能登に住む人の人柄、素朴さ、そして民家の「屋根」が気に入ったと言います。黒い瓦の屋根が並んでいて、そして白い壁、蔵がある。それは豊かで、文化があると思っただけです。そして当時の議長さんにお会いした時、「あの顔は野武士みたいだ」なんて、議員さんをキャストイングしているようなこと

積んで作ったという、ミナツク・シアターというところですよ。舞台の背景に能登半島の海岸が広がる劇場を考えていたらしいんですが、場所はこの山あいの中島町になることが決まり、最初はイメージと違っていたようです。

佐々木…瀬口さんも建築の勉強されたんですか？

瀬口…コンベンション・センターの勉強をするために、筑波科学博をプロデュースした先生10人位の仲間と、カナダからアメリカを回ったことがあるんですよ。演劇堂建設においては、石川県でいうと、金沢から輪島とか珠洲とかが目的地となり、中島町は通過地点になってしまう。通過点においてこのような場所は必要なのではないかという議論もありました。

佐々木…瀬口さんのような方が各都道府県にいたら素晴らしい日本になってたでしょう。秋田に来たことはありませんか？

瀬口…私は太陽テントという会社に勤めていた時に、仙台所長となり仙台から秋田に行ったことがあります。夜中に握り飯持って、車で秋田に向かった思い出があります。石川国体があった時、能代工業のバスケ部を自宅に泊めたことがあります。

佐々木…そうでしたか。太陽テントは素晴らしい作品が多いですよ。将来的に、野外と建物の空間をミックスしたような時代が来ると思っ

を言うんですよ(笑)。

佐々木…夏合宿には瀬口さんも行っていたのですか？

瀬口…夏合宿、私も行ったことがあります。行った時間が食事時間で、パッとご飯を用意してくれて「どうぞ食べてください」と言われて、無名塾のスタッフの心遣いに感動しました。地元のお母さんたちから野菜のおすそ分けなどのふれあいもあったようです。

夏合宿2年目からは稽古を公開することに、子どもたちも小学校単位で見に行っていましたね。何年か経ったら、この芝居が完成したら見てみたいという声があり「東京に芝居を見に行こう」となり、バスツアーを企画して、芝居を見に行きました。芝居を見た後は「みんな一杯飲みたいね」となり、「じゃあスナックを借りよ

ているんです。秋田に講演に来てくださいませんか？

瀬口…グリーンサムの冊子、読ませていただきました。あの美しいグリーンの中で子どもたちがのびのび育つ環境、素晴らしいですね。私は人前で話すことが苦手なので講演は勘弁してください(笑)

佐々木…また秋田に来てほしい。歓迎いたします！本日は貴重なお話ありがとうございました。

自然と舞台が一体となった演劇専用ホール「能登演劇堂」の舞台と客席が繋がった瞬間は圧巻です。



能登演劇堂二十年史より(七尾で掲載インタビュー記事)



●能登演劇堂
〒929-2222 石川県七尾市中島町中島上部9 TEL 0767-66-2323



ハイディワイナリー高作社長に案内していただきました。



ハイディワイナリーレストランから日本海を望む景観は、ワインも料理も一層美味しくしてくれそうです。



焼きズワイガニ



金沢駅東口にて(左より)佐々木吉和会長、渡部一之氏、市川平作氏



能登イタリアン前菜



のどぐろの炙り握り寿司



第6回ロングラン公演「肝っ玉おっ母と子供たち」 2017年

2017年のロングラン公演『肝っ玉おっ母と子供たち』の展示品前にて佐々木会長(右)と渡部氏(左)。



能登テロワール紀行

わたなべ かずゆき
渡部一之

プロフィール
渡部 一之(わたなべ かずゆき)
習志野市在住
習志野市国際交流協会理事
市在住外国人日本語教育ボランティア
習志野市ラザダ久保公民館理事
習志野市環境保護団体NORAの会事務局長
NPO法人秋田グリーンサム倶楽部会員

「一点の曇りもないこの爽やかな青空!!」

「はっはは一」

場所は能登演劇堂。演劇「左の腕」の一場面。仲代達矢演じる、初老鮎細工売り、卯助が、町のダニ、岡つ引きから脅し、強要を受けている時のセリフです。しびれました!!

この一言で、651 満席の劇場内に爽やかな風が流れ、脅されている恐怖感も一瞬にして、大空の彼方へ消え、劇場内が穏やかな空気に包まれるのでした。名優仲代達矢でしかなし得ない、オーラのなせる業でしょう。

これは、佐々木会長をリーダーに、能登テロワール紀行、4日間の旅日記です。

テロワールとは仏語で「土地に根差すもの」と云う意味だと、会長から教えていただきました。会長が生き方の基本として、常々思い描いている考え方であることも、知りました。

今回は能登の地に根付く、様々なテロワールを訪ねて、第一日目の観劇でした。

爽やかな風に包まれた劇は、進みます。常に左の腕に巻いた白い包帯の下には何が?

それは凶状持ちである印の入れ墨。最後はそれを隠し切れなくなり、周囲に知れることになりました。卯助の人柄を認めた周囲の人の温情に包まれ、最後は入れ墨を隠すことを止める決心をします。隠すことを止めた心の軽さ、何の拘りもない晴れ晴れとした心境に、本当の安らぎを見出す、と云う結末を迎えて、劇は終わります。

時代は変われど、人の愛情や苦悩は同じ。そして、人と人との軋轢や絆は変わらぬもの。市井に生きる者の姿を誠実に力強く演じる、仲代達矢の名演に酔いしれた観劇でした。

この能登演劇堂は、その昔仲代達矢が能登を旅した時に、その風土、文化、人々の素朴な人柄、海の幸、等に感動し、85 年からこの能登で、無名塾という演劇合宿を行って来た事がきっかけです。途中、ここに日本一の演劇堂が欲しいと、云いつけて来たところ、地元の人口たった8千人の中島町が 27 億の費用を調達し、95 年に神がかり的な完成の暁を見たと言います。

これは、能登の地の大きなパワーが、仲代達矢・中島町・住民に働きかけ、心を揺さぶり、情熱を燃え上がらせた結果なのです。まさに、能登の地に根付いた人々の力で誕生した演劇堂です。一念岩をも通す。感銘!!

季節は正に食欲の秋!! 能登半島は海に囲まれた土地柄です。食と云えば「海産物」です。捕獲解禁されたばかりの「蟹」、海に生きる生物に取って、栄養豊富な日本アルプスからの伏流水で育った魚介類。3 泊の夕食は全てこれらの「海の幸」を堪能して来ました。素材が良いと、料理人も燃えるのでしょう。味も冴え渡ります。頭で美味しいと感じるよりは、身体が美味しいと感じた、蟹づくし、寿司、イタリアン、今でも身体が覚えていきます。ウマーガッター!! (ごめんなさい、私達だけぞ馳走様で) 19日の夕食を終えて外へ出ると、夜空には丁度月食が迎えてくれました。

佐々木会長が今年初めての天王のワインを醸造し、年内にもボトリングが行われると、伺っております。能登テロワール、広大な海を抱く谷あいの上に建つ「ハイディワイナリー」を訪ねました。晩秋の夕暮れ時に、里山の枯れ棚田が、また見分けが付かないブドウ畑が海へと向かう斜面に

連なっています。海からの風が畑一杯に吹き上がり、海の力をも得たブドウが出来るのがわかります。社長の高作さん 39 歳が自ら、ワイナリーを案内してくださいました。

ワイナリーを始めようとした目的は、旅行で訪れた、アルプスの少女ハイジで有名な小さな村での発見にあると言います。その土地と人との穏やかな循環が、人々の豊かな生活に結び付いている。同じように、日本に帰って、ワインを通して、土地の人々の食事に豊かさを与える事業にしたいと云うのが目的の事です。ワイナリーの名称は、ハイジを英語読みのハイディとしたこと。この地を選んだ理由は、テロワールの基本3要素、土・地形・気候が基本であること。と伺って来ました。

大地への雨が海へ注がれ、蒸発して雨となる循環のように、出会った人々へ、自然の恩恵を還元して行きたい!! と、熱く語っていただきました。ブドウも土から。高作さんの情熱も、この地の大きなエネルギーに力をもらっているのだな一と、深く感銘を受けて来ました。

今回の旅では、観劇での情操心への栄養を、美味しい食で身体の栄養を、能登の地に根差す燃える情熱に出会っての精神の栄養を、そしてそして、旅仲間の皆様からいただいた、「情け」を胸一杯に、一生の楽しい思い出となりました。

「一点の曇りもないこの爽やかな青空!!」

「はっはは一」と、

この地球の自然に任せ、あるがままに、何も隠すことなし!! 上を向いて、平然と生きて行きたいものですね!!

ワイナリーこのはなは、鹿角市花輪の商店街のアーケード内にあります。一見、ワイナリーはどこかと探しても見つかりません。それもそのはず、パチンコ店の跡地を利用しワイナリーを設立し、お隣の銀行跡地を倉庫として活用しているんです。銀行の金庫を貯蔵庫にしているユニークさ。ご希望の方は見学可能です。その向かい側には販売店舗もあります。

**商店街のワイナリー。
元パチンコ屋さんの？**

秋田県鹿角市にあるワイナリーこのはな。小坂町鶴(とき)地区のブドウ畑で収穫した山葡萄交配品種を中心にワインを製造・販売しています。この土地に合った品種のブドウを栽培して、ステンレスタンクで醸造・熟成すること、ブドウの果実そのものの味がストレートに感じられる味わいとなっています。スッキリとした味わいの「鶴小公子無濾過生詰」は、お刺身など和食にピッタリで、「鶴ワインブランドロゼ」はマリネやカルパッチョに合わせると、赤・白・ロゼ・シードル、甘口・辛口・濾過・無濾過など、料理に合わせてチョイスするのも楽しいですね。

**秋田生まれ、秋田育ちの、秋田ワイン。
「ワイナリーこのはな」のテロワール
和食に合う「赤ワイン」**



取材した日は、朝から降った雪が積もっていました。

**JR東日本「トランススイート 四季島」
で正式採用**

メディアムボディの辛口赤ワイン「鶴小公子無濾過生詰」が、JR東日本が誇るクルーズトレイン「トランススイート 四季島」で正式採用されています。「あきた産直市」がきっかけとなり採用が決まったそう。ヨーロッパの品種とは異なる日本ならではのワインが、地域を代表するシエラの創作料理を提供する「トランススイート 四季島」のコンセプトともピッタリと合ったのでしよう。素晴らしいマリナーージュが、そこに繰り広げられていることと想います。



クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」に採用された「鶴小公子無濾過生詰」

新発売の発泡ワイン「シャンペトル」

この度新発売された発泡ワイン「シャンペトル小公子2021 無濾過生詰」。グラスに注ぐと独特の色合いに魅せられます。和食に合う辛口の発泡ワインとなっていて、お刺身やウニ・イクラに合わせてスッキリ感をそのままに、繊細でやわらかな泡の口当たりを楽しめます。また、リンゴの産地の鹿角だけに、地元産のリンゴ100%仕様のシードルも人気です。みずみずしいリンゴの香りが広がって、雑味のない透明感と果実味たっぷりのスッキリした甘みが心地よく仕上がっています。お好みのワインと、地元の食材を合わせ、秋田のテロワールを楽しんでみてはいかがでしょうか。



ワイナリーこのはな代表の三ヶ田一彌さんと、ワインの説明を丁寧にしてくれた奥様の美香子さん。

試飲させていただきました。(右から)鶴ワインブランド(ロゼ)/鶴小公子無濾過生詰(赤)/かつのシードル/新品・シャンペトル小公子2021無濾過生詰

ワイナリーこのはな
秋田県鹿角市花輪字下花輪171
tel.0186-22-2388 fax.0186-30-0102
https://www.mkpaso.jp



ワインの瓶詰め作業を見学させていただきました。



はじめてブドウを収穫できました。
美味しいワインに仕上がりますように！



9月/食べられないように防鳥ネットを張りました



5月 花芽がつかしました



6月 実が付き始めました



9月下旬ぶどうの収穫が始まりました



8月 フサが大きくなったデラウェア



収穫したぶどうを選別しました



9月 収穫間近のキャンベルが沢山

むつみガーデンのブドウ畑に苗を植えて3年、今年はブドウの実をつけさせてみました。この土地の気候と土質に合う品種を見定めるため、試験的に10数種類のブドウの品種を植えています。潟上市天王にあるブドウ畑は、海に近い砂地で、海からの風もあります。この土地で育つブドウの、どの品種が、テロワールが、どのようなワインの味と個性をつくり出すのでしょうか、今から楽しみです。ブドウの収穫は9月下旬から行われました。一生懸命に育てたスタッフの嬉しさもひとしおです。今年は気候にも恵まれ、たくさん収穫できましたが、品種を限定して1000kg選び、「ワイナリーこのはな」さんへ醸造を委託しました。そして、12月、1000本のワインがボトリングされました。

1000本のワインは、これからじっくり熟成に入ります。ワインラベルも製作中です。ワインの完成、お披露目まで、今しばらくお待ちくださいませ。完成した際は、どんなワインに仕上がったのか、皆さんでお飲みいただけたいと思います。





むつみ造園土木(株) 出展/「雪解けのせせらぎ」上村プロデュース

秋田ふるさと村で毎年人気の、クリスマスローズと洋ランが咲き誇る花の祭典を、3月4日(木)～8日(月)に開催しました。

むつみ造園出展の大型ディスプレイ「雪解けのせせらぎ」は見応え満点。会場では、色とりどりのお花の販売やオークション、洋ラン講習会やワークショップが開かれ、体験を楽しむ方も。クリスマスローズの新品種「みこと」は、優しい雰囲気醸し出し、目を引く展示となりました。

秋田ふるさと村
秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46 TEL.0182-33-8800
<http://www.akitafurusatomura.co.jp/>

5月16日(日)自然ふれあいセンターで「のんびり里山さんぽと花炭づくり体験!」を開催しました。茶道やインテリアでも使われる花炭の作り方の説明を受け、材料を穴の開いた蓋付きの缶に入れ、火にかけ、火を止めて冷めるまでの時間を利用して、愛鳥山荘まで散歩をしながら、自然観察を行いました。センターに戻り、缶の蓋を開け、完成した花炭を見て、予想以上の美しさに感動の声が上がりました。里山散歩と花炭づくり、両方で新たな発見があり、参加の皆様はとても楽しまれたようでした。



秋田県環境と文化のむら
秋田県南秋田郡五城目町上樋口山田沢156-1
<http://www.kankyoku-bunka.jp/>

あきぎんイルミネーション2021

秋田銀行本店前のイルミネーションを制作して今年で17回目。約8千球のLEDが冬の夜を彩っています。イルミネーションの中心のオブジェは、世界文化遺産への登録が決定した「北海道・北東北の縄文遺跡群」の大湯環状列石が太陽と関係していることから、神秘的な光が出ているイメージを表現しています。また、その周りにはSDGsと東京オリンピック・パラリンピックの多様性をテーマに、カラ

フルなLEDでデコレーション。11/24～1/28の約2ヶ月間、午後4時～9時、お楽しみください。

■施工:長内麻似花
■設計:牧野竜大・石黒春花



秋田ふるさと村

ひと足早い春をお届け!
「春色花フェスティバル」

秋田県環境と文化のむら

のんびり里山さんぽと
花炭づくり体験!



「秋を聴く」小川慶月



「風の通り道」桜庭登月



「風のささやき」小野峯月



「花渡りII」教授者一同



「甦る時」家元 上村周峯

●プロフィール/三代家元 上村周峯
平成25年(2013)2月、二代家元宇佐美松峯の逝去により、家元代行で従弟の上村周平(周平)が三代家元を継承する。幼少の頃より母、上村喜風(桜月流家元教務)の下にいけばなに親しみ学ぶ。昭和61年より家元宇佐美松峯に師事、平成3年に一級教授を拝命。秋田県華道連盟主催総合花展などに出版。桜月流独自の花型を大切に創造力を高め自由で力強い、みちのくの自然から湧出する「鄙美」を求め精進。平成29年(2017)4月より秋田県華道連盟副会長を務める。令和2年(2020)秋田市文化団体連盟章を受章。

秋田県立小泉湧公園 日本庭園・水心苑
秋田県秋田市金足嶋崎後谷地21 TEL.018-873-5272
<http://www.koizumigatapark.jp/>

秋田県立
小泉湧公園
日本庭園
水心苑

9月18日(土)～19日(日)「水心苑」で開催
日本庭園と「いけばな」
新しい空間の創造

桜月流 創流50周年記念いけばな展 ～水心苑の秋にいけるⅢ～

流ける
桜月流

秋田だからできること
秋田でしかできないこと
秋田のいのちを輝かす

私共の桜月流は昭和45年(1970)初代家元宇佐美桜月により、みちのく秋田の風土に根ざした素材にこだわり季節の花と融合させ、自由でのびのびとした創造美を追求しようと秋田市土崎港に創流され昨年で50周年を迎えました。私で三代目となりますが、初代家元・二代家元の精神に学び、自由で力強く独創的な趣を求めて精進しております。そして時には、花の居場所＝フィールドを変え創作を行っております。それは、発想の変化や力強い作品が生まれるのではないかと思います。

水心苑を舞台にした「いけばな展」の試みは、2015、2018年に続き今回で3度目の開催となります。「日本庭園」と「いけばな」は古くから伝わるわが国の文化であり、自然を尊び且つ精神性を重視して創られ、受け継がれてきた共通点があります。いけばなは自然の草木に生命力を感じ、美しく咲く花に心の安らぎを覚え、内なる空間に移し造形されたものです。この企画は内なる空間に創造された『いけばな』を日本庭園という外部空間に創る事によって、それぞれにこれまでとは違った趣と空気感が生まれ、庭園美に増して美しいものになるのではないかと思います。発想から始まったものです。また、造園と花の道を歩むものとして上手く空間を捉え、それぞれの存在を引き立たせることができるのではないかと思います。今年は、昨年から発生しているコロナウィルスの脅

威によって閉塞感の漂う状況の中、花と庭園を通して見る人が少しでも明るい気持ちになればと考え、感染拡大防止に十分注意し開催しました。

休憩所屋内に22点、園内には当流オリジナルなオブジェ花を含め10点の展示をいたしました。開催初日はあいにくの雨となりましたが、2日目は好天に恵まれ、開催期間2日間で1,400名ほどの方々にお越しいただき盛会裏に終ることが出来ました。訪れた方々からは、いけばなを鑑賞しながら緑豊かな美しい庭園をめぐり「清々しく晴々とした気持ちになり心の栄養をいただきました」という声を頂きました。またいつもいらしている方の中には、庭園といけばなが一体になった景色をみて、普段感じられない空気感の中に、いつもとは違う豪華さを感じたという方もおりました。それは何よりもいけばなによるおもてなし感が伝わったからではないかと思えます。また次回の開催を楽しみにしているというお声もたくさん頂きました。今回も水心苑の庭園美に加え、いけばなという観賞対象を融合させることにより、他では見られない奥深い空間を演出することが出来ました。来園いただいた多くの方々には庭園のさわやかな風を感じながら、いけばなと移り行く季節の風情を楽しんでいただけた事に大変嬉しく感謝しております。

桜月流三代家元 上村周峯

(上村周峯/本名:上村周平は、むつみ造園土木(株)湯上本店に勤務、長く造園設計・企画を担当。)

2020年からたくさんのイベントが中止になりました。自然が広がる各公園施設のスタッフは、感染対策をとりながら地域の方々に楽しんで頂けるようあの手この手で頑張っています。



名物トラクター馬車



公園内の自然を活かして作品展示



キッズダンス決まってる!



八郎太鼓の迫力のパフォーマンス



2011年(平成23年)から開催している「生態系公園野外展」が2021年(令和3年)で記念すべき10回目を迎えました。どの作品も創造的で生態系公園内の様々な物を利用して発想など価値観も多様で、豊かな自然を有効活用しながら、さまざまな作品が展示されました。

イベント中は、生態系公園名物の「トラクター馬車」が運行。参加者の皆さんの人気になっていました。最終日にはYBA(OGATA STUDIO)のキッズダンス、八郎太鼓・龍勢会の太鼓パフォーマンスが披露されました。

公園内の風景をバックに創作作品を展示する野外展、屋外でもソーシャルディスタンスが保たれ、お客さまもマスク等感染対策にご協力頂きました。この様な屋外での活動はニュースタンドになるかもしれません。

秋田県農業研修センター生態系公園
秋田県大潟村字東1-1 TEL.0185-45-3106
<http://www.seitaikeipark.jp/>



生態系公園野外展が10周年をむかえました。

♪石川理紀之助翁がつないでくれた、秋田と宮崎の素敵な交流♪

石川理紀之助翁の伝承活動を行っている宮崎県都城市の「山田のかかし笑劇団」が2021年10月、10周年を迎えました。これを記念して「開田先駆者3人の偉人(サマイ)物語」を都城市で講演、「10周年のあゆみ」も作成されました。これからも伝承活動を続けられるとのこと、今後、ますますのご発展をお祈りいたします。

山田のかかし笑劇団の皆さんとの交流は、2009年に出版された瀬之口ヤス子著「秋田からの爽風—石川理紀之助翁物語」という、1冊の絵本から始まりました。2011年に劇団設立後、潟上市の小学校との交流が始まり、2014年にはわらび座のミュージカル「リキノスケ、走る」を観劇されたり、2015年に出版した『改革者』たちの軌跡 チーム『石川理紀之助』が現代に遺したものの取材には多大なご協力をいただきました。

学校間交流も毎年のように行われ、昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は都城市の小中学生13名が潟上市を訪問。むつみ造園佐々木吉和会長が、これまでの交流をスライドを使って話し、三浦醤油店が比内地鶏のみそ漬体験会を開催して、納豆汁を振る舞いました。理紀之助翁が架けた虹の架け橋。これからも続けていきたい素敵な交流ですね。



都城市立山田中学校・田口園長校長はじめ、21名が訪問。



三浦醤油店の三浦将人さん



比内地鶏のみそ漬を体験。美味しなあれ!

納豆汁を食べて笑顔の皆さん。いい笑顔ですね!



石川理紀之助翁が縁で続いている交流をスライドで説明する、佐々木吉和会長



瀬之口ヤス子著「秋田からの爽風—石川理紀之助翁物語」

10周年の記念誌も完成。



サイクリングで自然満喫

緑の大地のかなたに森吉山を望み、どこか北欧を思わせる風景が広がる200ヘクタールに及ぶ秋田県立都市公園です。広大な大地に、自然がいっぱいのイベント広場や大芝生広場で、思いっきり走ったり、遊んだりしましょう!

広い公園内には、サイクリング、ジョギング、ウォーキングなどが楽しめる3つのコースがあります。自然の中をのんびり満喫してみませんか?自転車はパークセンターでレンタルしております。



秋田県立北欧の杜公園
秋田県北秋田市上杉中山沢128
TEL.0186-78-3300
<https://hokuopark.wixsite.com/hokuonomori>

パークゴルフからサイクリング、雪上バナナボートまで楽しめます。



2/14 「雪まつり」開催。天候にも恵まれ、バナナボートやスノーボードが大人気!



6/20 秋田県パークゴルフ交流会「潟上杯」開催。皆さんのナイスショットが見られました。



キャンプ場も人気でした!



芋掘りをがんばった、南鷹巣保育園の園児たち。



施設紹介動画



大館市石田ローズガーデン改修における外構整備工事

- 基本設計担当: 上村周平
- 実施設計: 佐々木竜太・牧野寛大
- プレゼンター: 佐々木竜太
- 監理技術者: 高橋陽介
- 現場代理人: 石川航
- 発注者: 秋田県大館市
- 契約方式: プロポーザル方式

■施設概要: 当該地は大館市初の名誉市民である故・石田博英氏の私庭でした。その後、石田氏の遺族から大館市へバラが寄贈されたのを機に平成7年7月から大館市で管理しております。

■工事内容: 園路広場整備工、石材系舗装工、縁石工、階段工、植栽工、修景施設整備工、サービス施設整備工、管理施設整備工、電気設備工、機械設備工

公募型プロポーザル形式として大館市から発注された“大館市石田ローズガーデン改修における外構整備工事”弊社の設計・プレゼンが審査の結果“最優秀提案者”として選定され受注することになりました。

公共工事において設計から工事まで担当させて頂く貴重な機会となりました。

石田ローズガーデンは2021年6月にはリニューアールオープンとなり、担当した御庭だけでなく建物も新しく改修され、とても過ごしやすい施設となりました。シーズン中には様々な薔薇が咲き乱れます。甘い匂いに美しい景観、皆様も是非一度お訪ねください。



3D CADで仕上がりをシミュレーション



銘板、園路、階段、などのエクステリア



大館市石田ローズガーデンホームページ

石巻南浜地区植栽

- 発注者: 東北地方整備局東北国営公園事務所
- 現場代理人: 徳原和仁
- 監理技術者: 遠藤賢一
- 工事概要: 国、宮城県、石巻市が連携して事業を進めてきました「石巻南浜津波復興記念公園」の中核施設「国営追悼・記念施設」です。面積は公園全体で約40ha。
- 工事内容: 敷地造成工1式、多自然護岸工1式、擁壁工1式、公園カルバート工2箇所、植栽工1式、給水設備工1式、雨水排水設備工1式、電気設備工1式、園路広場整備工1式、管理施設整備工1式

件名は植栽施設工事となっていますがカルバートボックスの設置等工種は多岐にわたりました。苦勞する部分もありましたが、国土交通省東北地方整備局の局長表彰を頂く等一定の評価を頂きました。震災復興に関わる工事に東北の建設業者として関わらせて頂いたこと感慨深いものがあります。



ローカルクエストによる学生インターンの公園魅力発信

公園をもっと気軽に、身近に感じてもらうと、ローカルクエストにご協力頂き、大学生と小泉瀧公園のイメージアップに取り組んでみました。8月~10月の3ヶ月間、3人の大学生はPR3姉妹として大活躍。彼女たちの取り組みから、たくさんの方の発見がありました。

①親近感の大切さ②目的や年齢層にあった情報発信の仕方③ツールをターゲットに合わせて変えるなど。3カ月間と短期間でしたが、自由な発想、積極的な行動は素晴らしく、水心苑のパンフレットを制作してくれました。また造園業界のことを少しでもわかってくれたことも、企業として明るい一歩になりました。

*「ローカルクエスト」は、地方の学生と企業のマッチングに特化した求人プラットフォームです。



左より/国際教養大学2年福富さん、むつみ造園・西川課長・泉田所長、秋田県立大学2年山崎さん、秋田県立大学1年益子さん



パンフレットは、若者にもわかりやすくカラフルで明るい仕上がりに。駅や周辺施設にも設置して宣伝。SNS、LINEなどにも反映されました。

健康経営優良法人の認定証を頂きました

「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として認定証(中小規模法人部門)を頂きました。



健康診断やラジオ体操など従業員の健康管理も徹底します。

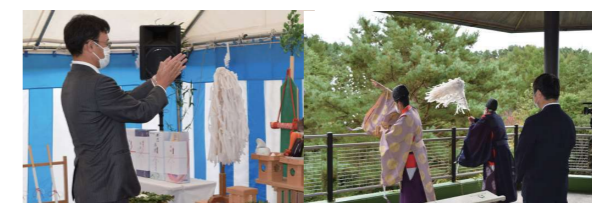


2021 Health and productivity

盛岡市動物園ZOOMO(ズーモ)再生事業

2021年10月より、盛岡市動物園再生事業関連工事が始まっています。2023年春のリニューアル開園予定です。「人と動物と自然が、共生する動物公園~人と動物が参加する、新しい福祉の形」をコンセプトに生まれ変わります。リニューアル後は周囲の里山を生かし、動物福祉の考えや里山の環境にあった動物たちを飼育展示していく予定となっています。

園内は利用者がストーリー感を体験する



起工式には谷藤裕明市長、園を運営する「もりおパークマネジメント」や工事関係者、辻本恒徳園長、むつみ造園佐々木創社長が出席し、神事を行い、工事の安全をお祈りしました。

4つのゾーンに分けられ、入口から終着点まで楽しさやワクワクが途切れることのない、歩いて楽しい動物公園となります。人にとっても動物にとっても幸せな場所となるように事業展開されています。

4つのゾーンは①「プロローグ・エピローグ」はアイキャッチデザインやエントランスの演出。②「里山に生きる」は盛岡の里山に入り込んだような植栽や、見渡すことのできるビューポイントの配置。③「高原の営み」



は牧草地をイメージし、芝生広場とこども動物園に開放感を形成。④「母なる大地」は終着点となり、非日常的でサバンナの草原を演出、谷地形を活かしサバンナを見下ろせる広場空間となる予定です。人にも動物にも居心地の良い空間となるようにデザインされています。リニューアルオープンの際は、是非、お誘い合わせの上、ご来園ください。